

不動産

令和4年6月25日号



昨年の夏まつり・盆踊り

昨年以上に開催を ふるさと夏まつり

輝く里不動産の会長 前澤信一

▼もう夏の到来を告げるような暑さが続いています。田植えも無事終り、輝く里不動産の会も、運営委員会を開催して本格的に活動を行っていきます。

▼前半の大きな事業と言えば、「ふるさと夏まつり」です。コロナ禍もあって休止した年もありましたが、昨年は盆踊りと大花火大会を開催することができました。今年は、例年のように開催できるよう準備したいと考えています。

▼花火大会については、ご寄付のお願いを、すでに町内に配布させていただきました。厄払いや出産、結婚などのお祝い事などで打ち上げていただくことも大歓迎です。ご親戚やお知り合いにも、花火の打ち上げをおススメください。

▼まだ検討している内容もありますので、詳細は、後日お知らせします。



今年は川あそびも開催する方向で

ふるさと夏まつりの概要

8/15 (月)

川あそび
子ども花火
盆踊りなど

8/16 (火)

大花火大会

開催
6/12
(日)

健康講座



毎日、運動をしたいところですが…

▼子どもたちが少なくなつて、運動会も開催が難しい中で、昨年好評の「健康講座」を今年も開催しました。▼今回は、健康を維持するための筋肉の使い方や軽運動を学びました。ふくらはぎの筋肉が、健康維持に大切なのだそうです。▼昼食を兼ねて反省交流会も行いました。参加人数は少なかったのですが、賑やかに開催できました。

中山間地集落協定 集落営農

検討はじまる



車座で明日の農業をみんなで考えます

▼国では、県や市とともに、農業が続けられるように、生産条件が不利な中山間地域を支援する制度をつくっています。▼当地でその受け皿となる「不動中山間地集落協定（代表・草間賢太郎さん）」では、近い将来に集落全体で農業を支える組織を発足すべく、今年度から検討をスタートしました。

▼ご承知のように、少子高齢化、過疎化が進んでいます。このため、中山間地域集落協定に参加する農地は、この五年間に、約三〇ヘクタールから約十五ヘクタールに半減しました。▼また、現在、現役で農業を続けている世代のほとんどは、六十代から七十代です。十年後には、確実に、さらに農業を続ける人が少なくなります。▼当地のような中山間地域は、日常の生活と農業は切っても切れない関係にあります。農地の所有者や借主だけでなく、みんなで農業を支えられるような組織が創ればと考えています。▼一方では、志を持った若い農業者の移住を受け入れていくことも方法の一つです。輝く里不動の会の発足時にも、移住に取り組みることが確認されています。▼農業をやっていない住民の方からも、ぜひ農業にも関心を持っていただきたく考えていますので、ご協力をお願いします。

地域活動支援事業

助成が決定される！



参考：名立まちづくり協議会のホームページ

▼例年、十月の「みずの森フェスティバル」と、二月のキャンドルロードなどの開催費用について、助成を申請していただきました。▼今年度はプラスして、新しい輝く里不動の会ホームページの構築と、この広報を発行する費用について、助成の申請を行いました。▼六月十一日に開催された名立区地域協議会で助成が決定しました。▼ホームページ（案）ができましたら、またお知らせします。楽しみにお待ちください。